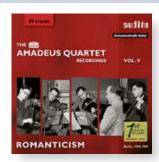
Aktuelle Rezension





The RIAS Amadeus Quartet Recordings

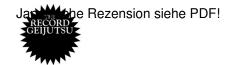
- Romanticism

aud 21.425

EAN: 4022143214256



Record Geijutsu (01.05.2017)





■中村孝義 (音楽学·音楽評論)

ている。今後も果たしてどのような 物が発掘されてくるのか興味が尽き のの中でとりわけ注目すべきものが づく第6集(最終巻)もすでに2月 ウス四重奏団の録音の第5集で、 アウディーテのシリーズで紹介され に発売されているが、 **合計すれば実に27枚にも及ぶ大コレ** 今回ご紹介するのは、アマデ それら全てを

ロッパにおける室内楽を俯瞰できる

全体を聴くだけでも、

19世紀ヨー

なかなか優れもののセットである。

オムニバス

あったことがよく分かる。

わけ高い人気を獲得していた団体で

を見ても、彼らがドイツ語圏でとり る団体が他にはありそうもないこと る録音をRIAS放送局に残してい 同時にこれだけのコレクションにな

動が展開されていた。それはカラヤ かいいようのない壮麗な音楽文化活 つをとっても明らかであった。その ン率いるベルリン・フィルの存在 繁栄を誇示するためにも、西側の町 あっただけに、西側の文化や経済の に比してもはるかに素晴らしいとし まっただ中に存在する特殊な町で もともと西ベルリンは、東ドイツ

Amadeus Quartet



アマデウス四重奏団 RIAS録音集 第5集 「ロマン派」

(ブラームス:弦楽四重奏 曲第1番,同第3番,ピアノ 五重奏曲、クラリネット五 重奏曲,弦楽五重奏曲第2 番, ブルックナー: 弦楽五 重奏曲, シューマン: ビア ノ五重奏曲, 弦楽四重奏曲 第3番,他)

団がイギリスの団体でありながら、

クションが出来上がる。この四重素

ベルリンをまるで第二の本拠のよう

に頻繁に訪れていたのは、

まさに彼

アマデウスSQ, セシル・アロノヴィッツ(va)ハインリヒ・ゴイザー(cl)コンラート・ハンゼン(p) 〈録音:1950年~1969年〉

[AuditeM21425(6枚組)]

らが西側の弦楽四重奏団の代表的存

在として扱われていたからである。

番もブラームスに対する彼らの深い 気あふれる演奏は極めて感動的。そ 第1番からして、その密度の濃い熱 いメッセージが溢れてくる演奏は聴 かび上がらせながら、内から意味深 た表現によって輪郭をくっきりと浮 の見事な切れ味と明確な隈取を持つ められている。 さに期待に違わない優れた演奏が収 の物にも当然期待が高かったが、ま 中でも出色の物であるだけに、今回 ており、これらが彼らの録音活動の はブラームス。彼らはDGにブラー の中から、ロマン派の作曲家たちの ムスの室内楽作品をほとんど録音し 作品をコレクションしたもの。まず で温かい情感の流れる演奏で、 感がにじみ出てくるような、 今回は彼らの膨大なレパートリー ていて本当に感銘深い。続く第3 最初の弦楽四重奏曲

麗な音楽文化活動が充実したアーカ

イヴとして残っており、そうしたも

意味でその西ベルリンにあったRI

AS放送局には、今もその時代の華

グリーグの作品が収められている クナー、ヴェルディ、ドヴォルザーク、 演が繰り広げられており、このセッ る。このセットには、その他にブルッ 宝庫であることが改めて確認でき 彼らのドイツ・ロマン派音楽に対す デルスゾーンの作品を収めたもの 第3番を収めたものと5枚目のメン 楽五重奏曲はいつものアロノヴィッ 持った演奏。3枚目に収められた弦 鎮との共演であり、これまた懐の深 ラームスの内面を映し出して余りあ ン古典派とは違った意味で室内楽の いると、ドイツ・ロマン派がウィー で、その滋味あふれる演奏で聴いて る相性の良さが見事に示されたもの ンのピアノ五重奏曲と弦楽四重奏曲 しておきたいのは4枚目のシューマ 価値は十二分にある。あと特に注目 スの作品だけでもこのセットの存在 滋味に溢れる好演。これらブラーム ツとの共演だけに、これもなかなか い、いかにもドイツ的な深い味わいを 録音では残されていないドイツの重 ンゼンやゴイザーといったスタジオ 奏曲やクラリネット五重奏曲も、 な力みがすっかり抜けた表現は、 2枚目に収められたピアノ五重 いずれも非常に説得力のある好